



2024年8月22日

世界食料デー大会実行委員会御中

2023年度「世界食料デー」のご報告

拝啓

世界に広がる飢餓・貧困問題の解決を願い、昨年も「世界食料デー大会」に取り組んで下さいましたことを心より感謝申し上げます。昨年度はコロナから回復傾向にあった世界で、戦争・紛争などの影響により食料の価格高騰と供給不足が加速し、特に生活が厳しい状況下にある途上国の人々に大きな影響が及ぶ中、全国各地で世界食料デー大会をご実施頂きました。その結果、昨年の世界食料デー募金総額は目標の2000万円を超える額となりました。皆様のお取り組みに心より感謝いたします。誠にありがとうございました。

2023年度の世界食料デー募金は、世界11カ国での地域リーダー育成、農業支援、教育支援、妊産婦の栄養改善や学校給食支援等の働きに用いさせていただきました。詳細につきましては、報告書を添付させて頂きましたのでご参照下さい。

今後とも、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

2023年度世界食料デー募金総額 23,859,733 円	横浜大会募金額 530,657 円
----------------------------------	----------------------

ここに、心からの感謝をもってご報告させていただきます。

敬具

ハンガーゼロ（一般財団法人 日本国際飢餓対策機構）

理事長 清家 弘久

世界食料デー事務局（東京事務所内） 近藤 高史



収入金額		支出金額		
2023年度 世界食料デー 募金総額 (*1)	¥23,859,733	募	コンゴ民主共和国 地域リーダー育成、農業支援など	¥5,900,000
		金	ケニア 農業支援、学校給食支援	¥1,900,000
		送	エチオピア 紛争後の心のケアと生活支援	¥2,300,000
		付	フィリピン 地域リーダー育成、教育支援	¥6,100,000
			インドネシア 妊産婦の栄養改善、農業支援	¥2,000,000
			南スーダン 給食支援	¥1,000,000
			モザンビーク 農業支援	¥400,000
			ザンビア 農業支援	¥600,000
			ガンビア 農業支援	¥550,000
			シエラレオネ 農業支援	¥800,000
			ガーナ 農業支援	¥470,000
			印刷関係費	¥1,054,392
			動画制作費	¥265,000
	事務経費（講演者旅費等）	¥520,341		

(*1) 世界食料デー各大会募金額とその他世界食料デー指定募金合計

2024年8月14日

上記のとおり報告いたします

一般財団法人 日本国際飢餓対策機構

〒581-0032 大阪府八尾市弓削町3-74-1

TEL:072-920-2225 FAX: 072-920-2155

世界食料デー事務局 近藤 高史



世界食料デー2023 募金使途報告

主な支援先

【コンゴ民主共和国】 ハンズ・オブ・ラブ・コンゴ

ブウェトでは、地域変革に参加している13のコミュニティすべてが共同農園を1ヘクタールに広げ、食料の確保がより確実となり、住民の栄養状態も向上しています。キンシャサとルブンバシでは、週2回の給食を継続して提供することができ、子どもたちの健康状態の改善と継続的な通学ならびに成績の向上に寄与することができました。カレミでは平和構築のためのファシリテーターをトレーニングし、紛争予防と対話の枠組み「Spaces for Peace」を3つの村で6つ始めることができました。



【ケニア】 FH ケニア

乾燥・半乾燥地域の遊牧民のコミュニティであるソロロ地区の住民が、気候変動に対応するための知識や技術を学ぶためのモデル農園をダダチ・エレレ小学校に設立しました。



【エチオピア】FH エチオピア

ジェンダーに基づく暴力などティグレ州での紛争による影響を大きく受けた女性や子どもたちの保護ならびに心のケア、生計の立て直し、教育の継続などの支援を行いました。

※2024年9月号ニュースレターに詳細を掲載予定です。



【フィリピン】ハンズ・オブ・ラブ・フィリピン

支援の手を離れたアルサビ村で初の卒業式が行われ、ソコロ市長や HOLPFI のスタッフが招待されて出席しました。子どもたち8名が卒園、22名が小学校を卒業しました。

アルサビ村には中学校がなく、遠方の中学校に通うための経済的余裕がない家庭がほとんどです。そこで、これまでハグナイアン地区で行ってきた中・高等教育を受ける子どもたちを対象とした奨学金支援をアルサビ地区でも行うため、調査とオリエンテーションを実施しました。

新たな支援地のための調査を進めてきていましたが、西ミンドロ州のサリダンコミュニティでの実施が決まりました。



【インドネシア】FHインドネシア

気候変動による農業へのリスクと環境にやさしい農業への重要性について75人の農家が研修を受け、有機肥料の作り方や有機農業における病虫害の防御などについて学びました。

昨年度に設立したモデル農園の活用が始まり、3つのグループが試験用の農地で、研修で学んだ知識を実践しました。収穫した農作物は家庭で消費すると共に市場で販売し収入の向上に役立てました。

メンタワイ諸島では依然として発育障害の割合が高いため、地域の保健員やボランティアをトレーニングし、妊娠期の健康に関する啓発や乳幼児の食事に関するカウンセリングを実施しました。



その他の支援先

国名	支援内容
南スーダン	マブイスクールの生徒536人に学校給食を提供することができました。また、学校農園での食材づくり（農業実習）の支援を行っています。
モザンビーク	若者を中心としたグループへの農業支援を行っています。 ※2024年3月号ニュースレターに詳細を記載しています。
ザンビア	農業を通じたコミュニティ開発支援を行っています。 ※2024年3月号ニュースレターに詳細を記載しています。
ガンビア	農業を通じたコミュニティ開発支援を行っています。
シエラレオネ	農業を通じたコミュニティ開発支援を行っています。
ガーナ	農業を通じたコミュニティ開発支援を行っています。

以上